

「家族へのありがとうの気持ちをこめて」

古河第一小学校 六年 牧野 花来未

わたしが感謝しているのは、お父さんとお母さんです。家族で毎日いっしょに食べるごはんは、わたしにとってとても大切な時間であり、あたたかい気持ちになれるひとときです。あたり前のように思っていたけれど、毎日おいしいごはんを作ってくれることは、すごいことだと気づきました。

朝早くから朝ごはんの準備をしてくれるの

はお母さんです。まだわたしがぼんやりしているうちに、キッチンからいいにおいがしてきます。焼きたてのパンや、みそ汁の香りがあります。今日もがんばろう！と思います。夜ごはんでは、お母さんの作るハンバーグが大好きです。お肉の中に玉ねぎが入っていて、やわらかくて、とてもおいしいです。学校でいかなことがあった日も、あたたかいごはんを食べると、気持ちがほっとします。お父さんも、たまに料理してくれます。持

に週末には、チャーハンやカレーを作ってく
れることがあります。お父さんのチャーハン
は、具がたっぷり入っていて、ちょっとピリ
ツとしていて、大人の味がします。うま
くできたかな？と聞かれると、すごくおい
しいよと答えたりします。料理をしながら
らっこうやって切ると早いんだよと教えて
くれることもあって、料理が苦手なわたしも
ちょっとやってみようかなと思えるようにな
りました。

ある日、学校の家庭科で「自分でごはんを
作る」という授業がありました。わたしは、
おにぎりとお味噌汁を作ることにし、家で練
習もしました。でも実際にやってみると、う
まくにぎれなかったり、だしを入れすぎてし
まったりして、思ったよりずっと大変でした。
そのとき、毎日きちんとごはんを作ってくれ
ているお父さんとお母さんって、すごいなと
心から思いました。

それに、料理をするだけでなく、メニュー

を考えたたり、買い物に行ったり、食べたあとの後かたづけもしてくれています。わたしがテレビを見ているあいだも、お母さんはキッチンで洗いものをしています。お父さんはごみ出しをしていたりします。そういう姿を見て、
「もつと手伝わなきゃ」と思いました。

毎日食べているごはんは、ただお腹を満たすだけじゃなくて、心も元気にしてくれます。お父さん、お母さんが作ってくれるごはんには、わたしたちへの思いやりや、がんばれと

いう気持ちがつまんでいるんだと感じました。これから、わたしも少しずつ料理を手伝ったり、
「ありがとう」をちゃんと口に出して伝えたりしていきます。たとえば、休みの日におにぎりを作ってみたり、お皿を洗ったりすることでも感謝の気持ちを行
動で伝えられたらと思います。
お父さん、お母さん、毎日おいしいごはんをありがとう。わたしは、ふたりの子どもでいられて本当によかったです。